



志賀 稔宗 議員

# 安心・納得の 避難指示解除を

**問** 市民は早く避難を終えて我が家でぐっすり眠りたいと思いがちですが、不安定な原発、除染賠償等の不安から早過ぎる解除を懸念している。解除の時期をどう考えるのか。

**答** 国は日常生活インフラが整い、除染作業が十分進捗した段階で、住民と協議し解除するとしている。市が解除見通しを示すにはまだ早いと思う。

**問** 解除条件が整ったかどうかの判断は、国ではなく市民の側に立って判断すべきではないか。

**答** そのように考えている。

**問** 汚染水の対応など、安心できる環境にはほど遠い状況だ。賠償等総合的に判断して、発災から6年後を解除とする考えはないか。

**答** ガレキ焼却や除染

の終期も不明確なので、推移を見ながら協議する。

**問** 帰還時期と賠償がリンクするのが理想だが、現制度では難しい。市が6年後を解除とはっきり宣言することで、まとまった賠償を受けてこそ、次のステップに踏み出せるのではないか。

**答** 原発事故処理のスケジュール等も勘案し、住民と協議のうえ時期を明示する。



進むインフラ整備 (小高区上町)

**問** 除染は住む住民が安心できなくては意味がない。もう一段徹底した除染法やガンマ線カメラ等新機軸を導入すべきだ。市民が自費で屋敷林を伐採しているが公費除染として認めるべきでないか。

**答** 放射能は樹木より地表面に多く存在する。

**質問を終えて**  
屋敷林伐採は除染効果より防風防砂機能喪失が心配とは信じ難い。早急に綿密な調査を。

## その他の質問

- 1 原発被災者対象の復興公営住宅の進捗は。
- 2 仮設住宅等の住替えは極力柔軟な対応を。
- 3 教育特区による戦略的教育環境の向上を。



田中 京子 議員

# 高齢化社会の中での 農業再生は

高齢者を巻き込んだ農業の再生を

昔からの「ゆい」の農業形態の取り入れを

**問** 地域の高齢化が進む中、高齢者の生きがいづくりや、経験と技術を持つ高齢者の方々の力を引き出す取り組みが必要ではないか。農業の再生を図る為、高齢者を巻き込んだ農業の再生について伺う。

**問** 昔からのゆいの農業では、集落で協力して働く農業が営まれていたと思う。今、そのゆいの農業の再生が重要と考えるが、市の考えを伺う。

**答** 高齢者におかれては、地域の営農継続と発展に、重要な役割を担うものと考えている。集落営農の検討など、経営再開マスタープランの作成においても、集落や、地域における高齢者を含めた農業者の役割等の話し合いを進める。

**答** 野菜農家では、震災前と同様にハウス栽培を続けている方、集落営農の復活を考えている方もおられます。一方では大規模農場を考えている方もおられます。

また、高齢者自身ができる、軽作業の農業の再開にも取り組む考えである。



実証田の稲刈り (鹿島区 小池長沼)

**質問を終えて**  
放射能を正しく理解して、危機感を持ちながらも進めるべく「地産地消」であろう。

## その他の質問

- 1 南相馬市のブランドづくりは。
- 2 災害公営住宅の集会所の整備は。

# 第1回 市民との意見交換会開催

南相馬市議会としては、初めての「市民との意見交換会」を8月8日から11日まで開催いたしました。お盆前の慌ただしい時期の開催でしたが、12会場で260名の参加があり、市議会や市政に対し200を超えるご意見、ご質問、ご要望をいただきました。

お忙しい中ご参加をいただきました皆さまに感謝申し上げます。

会場で即答出来る質問についてはお答えしましたが、お預かりしたご意見につきましては、広報広聴特別委員会で整理をし、議会で協議すべきもの、市長、執行部へ要望するもの、ご意見を今後の市政の参考とするものに分類いたしました。議会で協議するものについては9月議会中、または閉会中の調査活動の中で協議・検討をし、あらためて市長へ要望するもの、議会で引き続き協議をするものに分類をいたしました。

今回の議会だよりには、皆さまからいただきました多くのご意見等の検討結果について、主なものをご報告いたします。なお、掲載できなかったご意見につきましても、市政へ反映すべく市長に対し、しっかりと伝えてまいります。

また、議会に対するご提言に対しては真摯に受け止め、今後の議会活動に活かしてまいります。



市民との意見交換会（原町区石神地区）

【実施会場】

班	1班	2班	3班	4班
地	原町区／原町地区(ひがし地区) (道の駅南相馬)	原町区／太田地区 (太田生涯学習センター)	原町区／原町地区(ひがし地区を除く) (サンライフ南相馬)	原町区／大甕地区 (大甕生涯学習センター)
	原町区／石神地区 (石神生涯学習センター)	小高区／小高東部地区 (サンライフ南相馬)	原町区／高平地区 (高平生涯学習センター)	小高区／小高中部地区 (サンライフ南相馬)
区	小高区／小高西部地区 (サンライフ南相馬)	鹿島区／真野・八沢地区 (さくらホール)	鹿島区／鹿島地区 (さくらホール)	鹿島区／上真野地区 (西部コミュニティセンター)

## 第1回 市民との意見交換会で寄せられた主な内容

地区	意見内容	検討結果
議会に関すること		
原・高平	人口が8,000人減っている。議員の数も減らすべき。	昨年議会内で議論を重ね、9月定例会において2名削減する条例を可決しました。
	意見交換会を今後も開催してほしいが、参加者が少ない。メンバー構成に偏りがあるのではないか。	今回の反省を生かしながら継続して開催する予定です。
	市民との意見交換会を議会だよりにどう活かすのか。	議会だよりで報告いたします。
	議員は執行権がないのだから、意見交換会の意味があるのか。	市民と議会が意見交換できる貴重な機会と考えます。
原・太田	要望活動や意見書などの結果について知りたい。	議会だよりで報告いたします。
鹿・鹿島 原・原町 原・石神	議会は、会派や党ではなく力を合わせて、市民の声を聞いて進めるべき。	ご意見をしっかりと受け止め、今後の議会活動に活かします。
	議会の権威を示し、市民のために主張し実践すべき。	
原・原町	議員の街頭宣伝カーが、一方的に恐怖を煽っていて不快である。議会で確認しているのか。	議会で確認いたします。